

第26回 長野県移動性・安全性向上検討委員会 議事要旨

1. 開催概要

□開催日時：令和6年9月13日（金）15：00～

□開催場所：国土交通省 長野国道事務所会議室

□議事次第

1 開催あいさつ

2 委員紹介

3 議事

1. 長野県における交通渋滞対策について

(1) これまでの検討状況及び今回の議題

(2) 主要渋滞箇所のモニタリングについて

(3) 主要渋滞箇所の解除について

(4) ピンポイント渋滞対策について

(5) 松本市 TDM 施策について

(6) 今後の予定

2. 長野県における交通安全対策について

(1) これまでの取組経緯

(2) 長野県内の幹線道路交通事故対策

(3) 生活道路への取り組み

(4) 通学路への取り組み

3. その他

2. 質疑応答：長野県における交通渋滞対策について

■ ：説明・意見・質問・要望

➤ ：回答

(3) 主要渋滞箇所の解除について

【委員長】

■ ルール2の3年連続指標クリア箇所について、どのように解釈すればよいか。

【事務局】

➤ 赤沼交差点、清水1・2丁目交差点は、3指標を3年連続で上回っており、ルール上解除候補箇所となる。

- なお、赤沼交差点は、DRM 区間別の ETC2.0 旅行速度の分析結果では、20km/h を下回る結果となり右折車の影響等も考えられる。ただし、全時間帯 20km/h を下回っていることから、その他の原因がある可能性もあり、次回委員会までに分析を行う。

【委員長】

- 従道路の右折車は対向直進車が多い場合、進行方向の信号が青の場合も、信号待ちをすることとなり、速度低下に影響している可能性はある。

【事務局】

- 右折車の影響に関しては、改めて現地確認などを行う。

【中日本高速道路】

- ルール 3 の信号遅れ時間の分析について、信号現示が時間帯で変わるようなサイクルの場合、どのような計算をしているのか。

【事務局】

- 今後、深度化するような箇所ができてきた場合は、県警から情報提供をもらいながら対応することを考えている。

【委員長】

- 本日、解除候補箇所として審議した 2 箇所の交差点については、次回委員会で最終的な判断をするということによいか。

【一同】

- 了解した。

【委員長】

- ルール 3 において箇所別分析によって解除候補箇所となる 5 箇所については、事務局による現地踏査の結果等から、解除候補箇所としないことによいか。

【一同】

- 了解した。

(5) TDM について

【委員長】

- TDM 参加企業の立地を見る限り、中心市街地への混雑影響を発生させそうな位置にある企業は少ないかもしれない。

【事務局】

- 取組に参加いただいた企業は、中心市街地周辺に散らばっているような状況であり、中心市街地の混雑緩和にどのように寄与しているのかまでは把握できていない。
- 松本市と連携しながら、OD 等を整理していくことを考えている。

【委員長】

- 取組参加企業以外で本取り組みに参加している人は把握できるか。

【事務局】

- 事務局としては把握していないが、今年度も TDM 施策に取り組みに反映できるか松本市と引き続き調整していく。

3. 質疑応答：長野県における交通安全対策について

■ : 説明・意見・質問・要望

➤ : 回答

(2) 長野県内の幹線道路交通事故対策

【委員長】

- 今回は進捗報告ととらえて良いか。9 箇所の対策完了候補箇所等についてはどうなったか次回報告ということによいか。

【事務局】

- 次回報告時にご指摘いただきたい。

(3) 生活道路への取り組み

【委員長】

- ゾーン 30 プラスでは、どの地域でも入口に同じ緑色の絵の標識が設置されていると思う。この標識は地域で独自性を持たせることは可能なのか。

【委員】

- ゾーン 30 プラスでは、ゾーンを明確にすることを目的とし、入口に統一して緑色の絵の標識を設置している。地域によっては、よりわかりやすくということできさらに付随する看板を別につけるということも可能。

【委員】

- P21 のハンプの効果について質問です。北進方向と南進方向で速度低下が大きく異なっているが、理由はわかるのか。

【事務局】

- 速度差の要因までは把握できていないが、ハンプの設置により若干車両速度の低下が認められたのではないかと判断している。

【委員長】

- 30m 区間ごとに平均速度を算出しているということだが、ETC2.0 データで 30m ごとに平均速度を算出することは可能なのか。

【事務局】

- ETC2.0 データは 200m ごとのため、車両ごとに 200m 区間の平均速度を算出し、該当

する 30m 区間の平均速度としている。従って、200m 区間内で 30m 区間の速度がどう
いう形で変化しているまではわからない算出方法となっている。

【委員長】

- 200m ごとの平均速度となっているので、図に示すようななだらかなグラフとなっ
ていることで承知した。

会議状況写真

